

資料1

概要版

第2次石巻市総合計画



後期基本計画(中間案)

令和8年度～令和12年度

目次

第1編 総合計画について(第2次石巻市総合計画の概要)	1
計画策定の背景	1
計画の構成及び期間	1
将来像	1
土地利用の方針	1
前期基本計画の総括	2
第2編 総合計画基本計画	5
施策体系	5
第1章 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち	6
第2章 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち	8
第3章 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち	9
第4章 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	11
第5章 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち	13
第6章 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち	15
第3編 人口戦略	16
人口戦略の推進	16
対応方針1 安定した雇用を創出し稼ぐまちをつくる	17
基本方向	17
対応方針2 絆を大切にしたい人が集まるまちをつくる	18
基本方向	18
対応方針3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなうまちをつくる	19
基本方向	19
対応方針4 災害に強く安全安心に暮らせる魅力的なまちをつくる	20
基本方向	20
第4編 地区別将来展望	21

第1編 総合計画について(第2次石巻市総合計画の概要)

計画策定の背景

「第2次石巻市総合計画」は、本市の全ての計画の基本となり、市政運営の指針となる最上位計画として、将来にわたり持続可能な市政運営を行っていくために、令和3年度を初年度として令和12年度までの10年間を計画期間として策定しました。

今回、「第2次石巻市総合計画前期基本計画」(以下「前期基本計画」という。)が令和7年度をもって期間満了となることから、令和8年度を始期とする「第2次石巻市総合計画後期基本計画」(以下「後期基本計画」という。)を策定するものです。

計画の構成及び期間

総合計画は「基本構想」「基本計画」及び「実施計画」の3層構造で構成されます。

今回策定する基本計画は、基本構想で示した将来像や基本目標などを達成するために、具体的な施策展開と目標指標を示すものです。

後期基本計画の期間は令和8年度から令和12年度までです。



個別計画

将来像

ひとりひとりが ^{きら}多彩に煌めき 共に歩むまち

多種多様な人々が、各自の”力・個性”を輝かせ、個々の輝きが相まって「煌めく」ことにより”まちに活力が溢れ、素晴らしいまち”にという思いを込めています。

また、本市の豊かで「多彩」な資源が、人々に活用され「煌めく」ことにより、”多くの魅力を持った活力溢れるまち”になるという思いも込めています。

土地利用の方針

方針1 都市機能がコンパクトに整った集約型市街地の形成

方針2 臨海部における産業系土地利用の推進

方針3 住宅市街地における生活環境の充実

方針4 農地・山林・水辺の保全

方針5 持続的な地域生活圏の形成

方針6 本市を代表する自然環境の保全

時代の潮流

1 社会情勢と安全保障の変化

令和4年にはロシアによるウクライナ侵攻が発生し、国際情勢を大きく揺るがしました。これに起因するエネルギーや食料品の価格高騰が、国内経済にも影響を及ぼしています。

2 DX(デジタル・トランスフォーメーション)の加速

デジタル技術の急速な進展により、社会全体でデジタル・トランスフォーメーション(DX)が加速しています。また、生成 AI の普及が急速に広がり、行政の業務改善や住民の利便性向上に新たな可能性をもたらしています。

3 GX(グリーン・トランスフォーメーション)の取組

国は 2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて、再生可能エネルギーの導入拡大やグリーン・トランスフォーメーション(GX)に取り組んでいます。

自治体においても、再生可能エネルギーの導入促進、省エネ対策、脱炭素型のまちづくりが求められています。

4 多様性と包摂性への対応

女性や高齢者、障がい者、外国人など、多様な背景を持つ人々が共生できる環境整備が重要です。また、これに伴い、多様で柔軟な働き方を支える就労環境づくりが求められています。

5 防災・減災とレジリエンス強化

近年、全国各地で頻発する地震や豪雨などの自然災害に対し、防災・減災対策の一層の強化が求められています。

6 人口減少の進行

少子高齢化に伴う人口減少が進行し、地域社会の担い手不足が深刻化しています。特に、生産年齢人口の減少は、地域経済や地域コミュニティに大きな影響を与えています。

また、高齢者の増加に伴い、医療・介護需要が増大しており、持続可能な福祉施策の充実が求められています。

市の現状

客観的なデータに基づき、本市の現状分析を実施しました。

人口	人口減少・少子高齢化の著しい進行／転出超過の中でも、顕著な若者の転出
都市	全国平均・宮城県平均を上回る空き家率
健康	宮城県平均を下回る平均寿命・健康寿命
商工業	震災前からほぼ半減した小売業事業所数
教育	全国平均を下回る学力水準
行財政	類似団体に比べて高く推移する経常収支比率

市民満足度調査

市民の市政に対する満足度及び重要度を調査した結果、重要度が高く、満足度が低い『重点改善』となった項目は、以下の17項目となりました。

分野	項目名
1.市民生活	交通安全や防犯などの安全対策
	女川原子力発電所の安全対策・情報公開
	災害発生時の応急・復旧対策(ライフラインや食糧確保など)の構築
	公共交通ネットワークの整備
2.自然と都市	歩道の整備
3.健康と福祉	医療体制の充実
	地域福祉を担う人材の確保・育成
	地域での見守り体制・子育て機能の充実
4.産業	商工業の振興
	観光の振興
	企業誘致や新たな産業創出
	販路拡大や人材確保など地元企業の育成
	柔軟な働き方ができる職場環境の整備
5.教育	教員の指導力の向上
	学力向上への取組
6.行財政	石巻市政の情報公開による透明性の確保
	行政運営や財政運営の効率化

前期基本計画の進捗状況

令和3年度から令和6年度までの検証結果は下記のとおりです。

「第1章 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち」については、移住・定住の促進に係る施策が順調と評価される一方、地域防災力の向上・男女共同参画社会の推進等については、やや遅れている

「第2章 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち」については、環境保全等の施策が概ね評価される一方、都市機能整備については、やや遅れている

「第3章 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち」については、地域共生社会の実現に関し、やや遅れている

「第4章 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち」については、第1次産業から第3次産業の振興、企業誘致や新産業の創出について、やや遅れている

「第5章 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち」については、本市として将来世代の育成に力を入れてきた結果、総じて順調に進捗している

「第6章 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち」については、持続可能な行財政の運営について、やや遅れている

「復興創生の取組」については、令和4年度に復興ハード事業が完結しましたが、引き続き心の復興といった復興ソフト事業を実施しており、順調に進捗している

「人口戦略」については、稼ぐまちをつくる、人が集まるまちをつくる等、総合的に施策が遅れている

計画策定における重要施策

1 人口減少抑制

人口減少は、地域経済や市場規模の縮小、地域社会の担い手不足などの様々な影響を与えることから、引き続き重点的に対策に取り組むことが求められます。

2 稼ぐ地域づくり

本市の重要な資源である農林水産業の成長産業化の推進や、商工業や観光業における地域ブランド化等、石巻ならではの地域資源を効果的に活用しつつ、急速な広がりをみせているデジタル技術も導入しながら、産業の競争力を高めていき稼ぐ地域づくりにつなげていく必要があります。

3 安心して住み・働ける環境

買い物、交通、医療・福祉、防災・減災などの生活に関わる様々な機能の充実推進や共生型社会の実現に向けたコミュニティ活動の活性化、女性や高齢者、障がい者、外国人など、誰もが個々の事情に応じて柔軟な働き方ができる多様な就労環境を整えていく必要があります。

4 多彩な人材の活躍

子どもたちの学力や体力、情操などバランスの取れた教育を充実や社会の変化に適應するための「リスキリング」、趣味や地域活動も含めて生活の様々な場面で自己の能力を十分に発揮できるような学び直しの機会の確保、環境整備が望まれます。

人口フレームの見直し

人口減少は日本全体が直面している構造的課題であり、労働力不足による経済活動の停滞をはじめ、その影響は地域社会のあらゆる面に波及し、これまでの社会システムをも揺るがしかねない重大な問題となりつつあります。

この状況を踏まえ、国において人口・生産年齢人口が減少するという事態を正面から受け止めた上で、人口規模が縮小しても経済成長し、社会を機能させる適応策を講じていくとの基本的な考え方が示されたことから、2030年までの人口フレームを人口ビジョンの目標値である12万5,451人から国立社会保障人口問題研究所の令和5年推計の2030年推計値である12万2,272人に見直し、現状に則した人口減少対策に取り組むことで「飛躍と誇れる石巻」の実現を目指していきます。

SDGs との関係

総合計画基本計画の策定にあたり、多彩な地域資源を活用し、課題に対応するために効率的な行政運営を推進することにより、持続可能な開発目標の達成に向けたまちづくりを進めます。

第2編 総合計画基本計画

施策体系

基本計画は、以下の体系のもと取組を展開します。

章	節	目指す姿	細 節
第1章 住民同士の絆・支え合いで 安全安心に暮らせるまち	1 共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実	多くの住民参加により、地域コミュニティが活性化しているまち	1 多様な主体による地域活動を推進する 2 地域における住民同士のつながりを維持する
	2 少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進	住みたくなるまち、住み続けたいまち	1 若者の移住を促進する 2 若者の定住を促進する
	3 安心して暮らすための地域防災力などの向上	自助・共助・公助の取組による災害に強い安全安心なまち	1 地域防災力の向上を図る 2 防災情報の伝達手段の多様化を図る
	4 誰もが平等に生きるための男女共同参画社会の推進	誰もがともにいきいきと、個性と能力を發揮できるまち	1 多様で柔軟な働き方を選択しやすい就労環境づくりを促進する 2 家庭生活における男女共同参画を推進する
	5 持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進	未来に向けた持続可能な公共交通サービスが実現するまち	1 通勤に利用しやすい公共交通システムの構築を図る 2 日常の移動手段として選ばれる公共交通を確立する
	6 未来につなぐ震災伝承の推進	東日本大震災による深い傷跡、悲しみの記憶及び震災を通じて得た教訓を風化させることなく後世に伝えるまち	1 震災伝承を推進する 2 伝承活動の担い手を育成する
第2章 都市と自然が調和し快適 とやすらぎが生まれるまち	1 豊かな自然環境の保全・生活環境の充実	地球環境を守る脱炭素のまち	1 自然環境を保全する 2 再生可能エネルギーの利用を促進する
	2 持続可能な社会を目指すごみの減量化と資源循環の推進	公衆衛生の向上を図り、良好な都市環境を形成するまち	1 ごみ減量化を推進する 2 再資源化を推進する
	3 安全安心な住環境と都市機能の整備の推進	誰もが安心・快適に住み続けられるまち	1 住みよいまちづくりを推進する
第3章 共に支え合い誰もが生き がいをもち自分らしく健康 に暮らせるまち	1 安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実	こども・子育てにやさしいまち	1 安心してこどもを生き育てられる環境を整備する 2 こどもと子育て家庭を支える環境を整備する
	2 生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実	生きがいと役割を持って、自分らしく健やかに安心して暮らせるまち	1 高齢者の生きがいと介護予防等の取組を推進する 2 在宅生活を継続するための生活支援体制を整備する
	3 共に安心して暮らせる障害福祉の充実	誰もが認めあい、支え合いながら、安心して自分らしく暮らせる共生のまち	1 障害者への理解を深める 2 相談支援体制を構築する
	4 誰もが元気に暮らせる心と体の健康づくりの推進	健康で笑顔があふれるまち	1 心と体の健康づくりを推進する 2 地域医療提供体制を充実させる
	5 みんなが共に支え合う地域共生社会の実現	いつも自分らしく生きるためにみんなで支え合うまち	1 身近なことの変化に気づくことができる地域づくりを促進する 2 地域におけるつながりを創出する 3 安心して健やかな暮らしを支える体制を整える
第4章 多彩な人材が活躍し誇りと 活気にあふれるまち	1 賑わいと活気にあふれる商工業の振興	地域経済を支える商工業の振興が図られるまち	1 企業活動の活性化を促進する 2 中心市街地の活性化を推進する
	2 持続可能な漁業・水産加工業の振興	水産物の安定供給と水産業の健全な発展を目指すまち	1 水揚量の維持と確保を図る 2 水産加工品の流通を強化する
	3 魅力的な農林畜産業の振興	魅力的な農林畜産業の振興が図られるまち	1 持続可能な農業経営体を育成する 2 豊かな農村環境の再生を推進する
	4 地域資源を活かした観光事業の振興	地域資源を活かした観光事業の振興が図られるまち	1 地域資源を活用した観光誘客を推進する 2 周遊観光の促進と滞在時間の延伸を図る
	5 企業誘致の推進と新たな産業の創出	自分らしい生き方ができて、生産性が向上し、稼ぐ力のあるまち	1 企業立地を促進する 2 新規創業及び第二創業を促進する
	6 未来の産業を担う人材の確保と育成	若者が働きがいをを感じるまち	1 地元雇用の増加を図る
第5章 豊かな心を育みいのちを 未来につなぐまち	1 安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進	安全安心な教育環境が整備されたまち	1 快適な学習環境の向上と充実を図る
	2 社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実	社会の変化に主体的に対応し、自ら考えて判断・行動する「社会を生き抜く力」を持った人を育成するまち	1 学校教育の充実により学力向上を図る 2 児童生徒の豊かな心の育成を図る 3 就学等に係る支援を図る
	3 いのちを守る防災教育の推進	児童生徒が確実に自らの命を守り抜く、災害対応力が向上しているまち	1 防災教育の充実を図る
	4 地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進	地域ぐるみで子どもを育てるまち	1 地域で支える教育活動を推進する 2 青少年の健全な成長と郷土愛をはぐくむ
	5 豊かな地域社会を育む生涯学習の推進	心豊かなうるおいのあるまち	1 市民の学習意欲の向上を図る
	6 生涯にわたるスポーツ活動の推進	生涯スポーツ社会を実現するまち	1 スポーツの持つ力を活かして生きがいを持った健康的な生活を送る
第6章 市民の声が共鳴し市民と 行政が共に創るまち	1 市民に寄り添い信頼される行政運営の推進	市の行政運営が市民に信頼されているまち	1 市民と市の相互理解を推進する 2 市民サービスの利便性の向上を図る
	2 持続可能な行財政運営の推進	人口規模及び歳入規模に見合った行財政運営が推進されているまち	1 健全で持続可能な財政運営を行う 2 効率的かつ効果的な行政運営を行う

第1章 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち

第1節 共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実

【目指す姿】多くの住民参加により、地域コミュニティが活性化しているまち

KGI

主 観：地域コミュニティ活動が活性化していると感じる市民の割合[単年]
客 観：なし

1 多様な主体による地域活動を推進する

KPI 地域における交流事業への参加割合[単年]

主な取組

- ・住民協議会による地域づくり活動など、住民の主体的な活動に対し支援
- ・各地域のまちづくり施策について検討し、市長に提案する地域まちづくり委員会を開催し多様な主体による地域活動を推進
- ・市民が行政と協働のまちづくりにより実施する事業のほか、市全域のまちづくりのために地域コミュニティの活性化を図る事業に対し支援

2 地域における住民同士のつながりを維持する

KPI 町内会・自治会への加入率[単年]

主な取組

- ・住民主体で開催するコミュニティ活動、住民交流事業の開催の活発化を図るため、町内会が集会所やイベント等で使用する備品の購入に対し支援
- ・地域住民によるコミュニティ活動の拠点となる集会所の新築、改修などを支援

第2節 少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進

【目指す姿】住みたくなるまち、住み続けたくなるまち

KGI

主 観：今後も石巻市に住み続けたいと思っている市民の割合[単年]
客 観：社会増減率[単年]

1 若者の移住を促進する

KPI 転入者のうち20歳から39歳の割合[単年]

主な取組

- ・移住希望者が、生活環境や仕事、町内会などの役割について気軽に相談できるような環境づくりを推進
- ・首都圏等で実施する移住相談会や、移住促進イベントなどに積極的に参加し、移住希望者のニーズの把握や本市の魅力をPR
- ・本市への定住を目的として移住する子育て世帯の住宅確保に対し支援
- ・二地域居住やお試し移住体験などを通じた移住に係るきっかけづくりを推進

2 若者の定住を促進する

KPI 転出者のうち20歳から39歳の割合[単年]

主な取組

- ・地域おこし協力隊員の起業に対し支援
- ・出会いの場や結婚につなげる機会を創出する活動や、新婚生活に対し支援
- ・定住を促進するため、市内に住所を有し、新たに事業主に正規雇用された方や起業した方に対し、奨学金の返還を支援
- ・シティプロモーションなどを通じてシビックプライドを醸成し定住促進

第3節 安心して暮らすための地域防災力などの向上

【目指す姿】自助・共助・公助の取組による災害に強い安全安心なまち

KGI

主 観：地域の防災対策が推進されていると感じる市民の割合[単年]
客 観：災害に備えて備蓄(飲料水・食糧)をしている家庭の割合[単年]

1 地域防災力の向上を図る

KPI 防災訓練参加率[単年]

主な取組

- ・自主防災組織が行う防災資機材の購入、防災倉庫の設置、非常用食糧の購入、防災訓練の実施など、地域防災力の向上に向けた活動に対し支援
- ・非常用持出品を持ち出すことができなかった避難者のための食糧、飲料水等や、避難所運営に必要な資機材等を配備・更新

2 防災情報伝達手段の多重化を図る

KPI 防災情報サービス登録者数[単年]

主な取組

- ・災害時に必要な情報を迅速に発信し続けられるよう、防災情報伝達手段の多重化を図る
- ・各種災害のハザードマップの作成・配布により災害危険個所の把握など、防災・減災に繋がる取組を推進するとともに、市民との情報共有を図り、連携と協力による総合的な防災体制の充実を推進

第4節 誰もが平等に生きるための男女共同参画社会の推進

【目指す姿】誰もがともにいきいきと、個性と能力を発揮できるまち

KGI

主 観：男女共同参画社会が推進されていると感じる市民の割合[単年]

客 観：女性の就業率(18歳～69歳)[単年]

1 多様で柔軟な働き方を選択しやすい就労環境づくりを促進する

KPI イクボス宣言企業数[単年]

主な
取組

- ・職場の管理職層等を対象に、子育て参加に対する理解促進講座を開催するほか、ワーク・ライフ・バランス実現に向けた仕事の効率化を図るためのスキル習得研修を実施
- ・女性の職業生活における活躍に関する取組を効果的かつ円滑に実施するため、各種セミナー等を開催

2 家庭生活における男女共同参画を推進する

KPI 男性の1日当たりの家事参画(1時間以上)率[単年]

主な
取組

- ・家事への性別役割分担意識を解消するため、家族間におけるコミュニケーションスキルや家事に関する知識について、講義と実践を通じて学ぶセミナーを開催
- ・父親・母親の疑似体験などを通じて、親になるための準備を行い、妊婦への思いやりを育み、命の大切さ、子どもを産み育てることへの理解を促すための取組を推進
- ・将来を担う若い世代における意識啓発を推進

第5節 持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進

【目指す姿】未来に向けた持続可能な公共交通サービスが実現するまち

KGI

主 観：公共交通利用者の内、公共交通に満足している市民の割合[単年]

客 観：公共交通利用回数(市民1人当たり)[単年]

1 通勤に利用しやすい公共交通システムの構築を図る

KPI 路線バス・鉄道の就業者人口カバー率[単年]

主な
取組

- ・地域の多様な輸送資源を維持するため、市民バスや路線バス等を運行する関係団体や運行事業者に対し支援
- ・公共交通の利用促進に向けた意識啓発を推進

2 日常の移動手段として選ばれる公共交通を確立する

KPI 公共交通を利用して外出した市民の割合[単年]

主な
取組

- ・路線バスと各地区の住民バスや市民バスの接続性、ダイヤ、運賃体制などを総合的に見直し
- ・公共交通の利用促進を図るため、オープンデータをコンテンツプロバイダに提供し、運行情報を簡単に取得できるようにするなど、利用者の利便性の向上を推進

第6節 未来につなぐ震災伝承の推進

【目指す姿】東日本大震災による深い傷跡、悲しみの記憶及び震災を通じて得た教訓を風化させることなく後世に伝えるまち

KGI

主 観：震災を後世に伝える取組が充実していると感じる市民の割合[単年]

客 観：なし

1 震災伝承を推進する

KPI 震災遺構来訪者数[単年]

主な
取組

- ・2つの震災遺構を活用し、震災伝承の取組を推進
- ・震災伝承活動を行っている個人や団体等と連携した支援

2 伝承活動の担い手を育成する

KPI 語り部・伝承者育成講座受講者数[単年]

主な
取組

- ・伝承関係団体と連携した次世代の伝承活動の担い手育成等を推進

第2章 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち

第1節 豊かな自然環境の保全・生活環境の充実

【目指す姿】地球環境を守る脱炭素のまち

KGI

主観：多くの自然や生物に恵まれていると思う市民の割合[単年]
客観：年間CO2排出量[単年](家庭部門)

1 自然環境を保全する

KPI 環境に配慮した生活を行っていると感じた市民の割合[単年]

主な取組

- ・ 市民や関係団体と協働して各種イベントを開催し、環境保全に関する意識高揚のための普及・啓発活動を実施
- ・ 環境に配慮した行動を実践できる「環境市民」を育成
- ・ 川のビジターセンターを拠点に、自然を活用した交流人口の増加や地域の活性化に貢献する事業を推進

2 再生可能エネルギーの利用を促進する

KPI 再生可能エネルギーによる発電量[単年](10kw未満)

主な取組

- ・ 太陽光発電システムなどの設置に係る支援に努め、温室効果ガス排出の低減を推進

第2節 持続可能な社会を目指すごみの減量化と資源循環の推進

【目指す姿】公衆衛生の向上を図り、良好な都市環境を形成するまち

KGI

主観：ごみの減量化・リサイクルが推進されていると感じる市民の割合[単年]
客観：市民一人一日あたりのごみ排出量[単年]

1 ごみ減量化を推進する

KPI 市民一人一日あたりの生ごみ排出量[単年]

主な取組

- ・ 生ごみ削減に対し支援
- ・ 食品ロスの削減などの意識啓発を推進

2 再資源化を推進する

KPI 家庭系ごみリサイクル率

主な取組

- ・ ごみの分別徹底などを促進し、資源の有効活用を進め、市民による再資源化の取組を促進
- ・ 廃プラスチック類の分別収集・再資源化により資源循環型社会を構築

第3節 安全安心な住環境と都市機能の整備の推進

【目指す姿】誰もが安心・快適に住み続けられるまち

KGI

主観：都市環境が充実し、暮らしやすいと感じる市民の割合[単年]
客観：なし

1 住みよいまちづくりを推進する

KPI 住環境及び都市機能の整備に対して満足している市民の割合[単年]

主な取組

- ・ 立地適正化計画に基づき、コンパクト・プラス・ネットワークを形成するための事業を推進
- ・ 木造住宅の耐震化や危険なブロック塀の除却等、地震に備える市民に対し支援
- ・ 各種道路の新設や改良などを実施
- ・ 公園の遊具や植栽等の施設整備を実施
- ・ 公共下水道の整備を推進

第3章 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち

第1節 安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実

【目指す姿】子ども・子育てにやさしいまち

KGI

主 観： 妊娠・出産・子育てができる環境が充実していると感じる市民の割合[単年]
客 観： 0歳～39歳年度末人口[単年]

1 安心して子どもを産み育てられる環境を整備する

KPI

出生数(年度末0歳人口)[単年]

主な取組

- ・ 妊産婦や乳幼児をはじめとして、一貫した健康づくりを推進するため、出産育児に関する情報提供・相談体制の整備、乳幼児健康診査の実施、産婦・新生児訪問指導など、母子保健の総合的なサービスの充実
- ・ 育児支援を希望する家庭に対し、ヘルパーの派遣など支援
- ・ 若い男女に対するヘルスケアとして、自身の体の状態を把握し、将来の妊娠や体の変化に備えて、自分やパートナーの健康と向き合い将来設計を考えるプレコンセプションケア事業を実施

2 子どもと子育て家庭を支える環境を整備する

KPI

保育施設及び放課後児童クラブ待機児童数[単年]

主な取組

- ・ 休日保育や幼保一体化など保育ニーズの多様化に対応した環境を整備
- ・ 保育事業の安定運営に向けた保育士の確保
- ・ 子育て世代のニーズに沿った放課後児童クラブの運営により、子どもと子育て家庭を支える環境を整備

第2節 生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実

【目指す姿】生きがいと役割を持って、自分らしく健やかに安心して暮らせるまち

KGI

主 観： 高齢者福祉が充実していると感じる40歳以上の市民の割合[単年]
客 観： なし

1 高齢者の生きがいと介護予防等の取組を推進する

KPI

要支援・要介護認定率(65歳以上)[単年]

主な取組

- ・ 家に閉じこもりがちな高齢者を対象に、集会所などで生活に関する相談や指導、ゲームなどによる日常動作訓練、健康チェックなどを行い高齢者の体力の改善や日常動作などの改善に対し支援
- ・ 60歳以上の市民を対象に、各種講座を開講し、創造的活動ができる場を提供し生きがいの創出や社会的孤立防止を促進

2 在宅生活を継続するための生活支援体制を整備する

KPI

在宅生活高齢者率[単年]

主な取組

- ・ 在宅高齢者に対し、日常生活に必要となる介護保険制度以外の福祉サービスを提供し心臓機能の低下防止と健康の保持増進を促進
- ・ 認知症初期集中支援チームにより、認知症の初期支援を包括的・集中的に実施
- ・ 在宅の一人暮らし高齢者等の日常生活の安全を確保するとともに、精神的な不安の解消に向け緊急通報システム機器を貸与し、緊急事態に迅速な対応ができる体制を整備

第3節 共に安心して暮らせる障害福祉の充実

【目指す姿】誰もが認めあい、支えあいながら、安心して自分らしく暮らせる共生のまち

KGI

主 観： 障害者にやさしいまちづくりが推進されていると感じる市民の割合[単年]
客 観： なし

1 障害者への理解を深める

KPI

障害のある方の立場を理解して行動ができている市民の割合[単年]

主な取組

- ・ 障害者が日常生活・社会生活を営む上で生じる社会的障壁を除去するため、障害や障害のある方への理解を深めるための研修や啓発事業などを実施
- ・ 聴覚や言語機能等の障害により意思疎通を図ることが困難な障害者に対して、手話通訳者の設置や派遣などの事業を実施

2 相談支援体制を構築する

KPI

障害者のサービス利用相談に対してサービス利用へ繋がった割合[単年]

主な取組

- ・ 相談窓口を設置して、複雑かつ多様な相談に対応し支援を実施

第4節 誰もが元気に暮らせる心と体の健康づくりの推進

【目指す姿】健康で笑顔があふれるまち

KGI

主 観：心と体の健康づくりが推進されていると感じる市民の割合[単年]

客 観：健康寿命[単年]

1 心と体の健康づくりを推進する

KPI

主
な
取
組

メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合(40歳～69歳・市町村
国保+協会けんぽ被保険者)[単年]

- 生活習慣病の発症や重症化を予防するための指導及び普及啓発を推進
- 心の健康相談や家庭訪問、心のケア研修会などを実施

2 地域医療提供体制を充実させる

KPI

主
な
取
組

市内医療機関数の対人口10万人あたりの割合(病院・診療所)

- 地域医療を支える医療体制の確保
- 石巻医療圏内医療機関の二次救急医療や三次救急医療等の医療体制を支援
- 医療体制の確保に向け新たに医療施設を開設する医師又は法人に対し支援

第5節 みんなが共に支え合う地域共生社会の実現

【目指す姿】いつも自分らしく生きるためにみんなで支え合うまち

KGI

主 観：地域で支え合いが行なわれていると感じる市民の割合[単年]

客 観：なし

1 身近なことの変化に気づくことができる地域づくりを促進する

KPI

主
な
取
組

近所で困りごとの相談ができる・会えば立ち話をする人がいる市民の割合[単年]

- 地域福祉活動の中心的役割を担う石巻市社会福祉協議会の運営に対し支援

2 地域におけるつながりを創出する

KPI

主
な
取
組

困りごとの相談者が誰もいない・思いつかないと回答した市民の割合[単年]

- 地域住民の身近な相談者として、民生委員・児童委員の確保
- 市民主体の団体が行う身近な地域での送迎支援や買い物支援、見守り声かけ支援等の互助活動に対し支援

3 安心して健やかな暮らしを支える体制を整える

KPI

主
な
取
組

地域で助け合いの意識が全体的にある・部分的にあると回答した市民の割合[単年]

- 医療・福祉・介護職の人材を確保するため、市内事業所で就労した者の奨学金の返還額に対し支援
- 避難行動要支援者の支援体制を推進するため、災害時に支援が必要な住民の登録及び民生委員や町内会等との情報共有

第4章 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち

第1節 賑わいと活気にあふれる商工業の振興

【目指す姿】地域経済を支える商工業の振興が図られるまち

KGI

主 観：商工業が充実していると感じる市民の割合[単年]
客 観：総生産額(第2次・第3次産業)[単年]

1 企業活動の活性化を促進する

KPI 法人市民税調定額[単年]

主
な
取
組

- ・中小企業者の事業経営や雇用継続などのために必要な資金調達に対し支援
- ・新たな産業創出、研究開発、産業人材の育成などの創造的事業を行う事業者に対し支援
- ・中小企業の福利厚生の実施に対し支援
- ・6次産業化・農商工連携の取り組みや、新製品の開発などを行う事業者などに対し、専門家派遣や講習などの各種支援を実施

2 中心市街地の活性化を推進する

KPI 歩行者・自転車通行量(18 地点)[単年]

主
な
取
組

- ・街なか出店サポートセンターを設置し、新規出店の支援や空き地・空き店舗の取得、賃借等に要する経費を支援
- ・中心市街地におけるイベントの開催に対し支援
- ・官民が連携し中心市街地の活性化に向けた取組を推進

第2節 持続可能な漁業・水産加工業の振興

【目指す姿】水産物の安定供給と水産業の健全な発展を目指すまち

KGI

主 観：水産業が充実していると感じる市民の割合[単年]
客 観：漁業生産額及び水産加工品出荷額[単年]

1 水揚量の維持と確保を図る

KPI 石巻市水産物地方卸売市場及び漁協共販水揚量[単年]

主
な
取
組

- ・水揚量の確保を図るため、各地の漁船の誘致や陸上養殖の普及・促進
- ・市管理漁港の漁港施設機能を保全
- ・環境・生態系保全に資する事業を実施する活動組織に対し、宮城県水域保全協議会を通して負担金を支出

2 水産加工品の流通を強化する

KPI 水産加工品出荷量[単年]

主
な
取
組

- ・石巻産の水産物及びその加工品の輸出販路獲得、拡大に向けた取組を支援
- ・水産物のブランド化を推進

第3節 魅力的な農林畜産業の振興

【目指す姿】魅力的な農林畜産業の振興が図られるまち

KGI

主 観：農林畜産業が充実していると感じる市民の割合[単年]
客 観：農業産出額[単年]

1 持続可能な農業経営体を育成する

KPI 認定農業者数(法人)[単年]

主
な
取
組

- ・移住者や若者を積極的に受け入れるとともに、農業の担い手の確保に係る活動や就労に対し支援
- ・高品質で収益性の高い園芸振興を図るため、パイプハウスや暖房機設備といった施設の設置等に対し支援

2 豊かな農村環境の再生を推進する

KPI 耕地面積(田、畑)[単年]

主
な
取
組

- ・農業農村の地域活動や自然環境の保全に資する農業生産活動に対し支援
- ・農業等を県の慣行レベルから5割以上低減する取組と併せて行う取組に対し支援

第4節 地域資源を活かした観光事業の振興

【目指す姿】地域資源を活かした観光事業の振興が図られるまち

KGI

主 観： 地域資源を活かした観光業が充実していると感じる市民の割合[単年]
客 観： 観光客入込数による経済波及効果額[単年]

1 地域資源を活用した観光誘客を推進する

KPI 観光客入込数[単年]

主な取組

- 本市の自然、食材、観光資源をイベントやSNS等を通じ市内外に発信
- 各種祭りイベントの開催を支援するとともに、観光客誘致イベントの企画・立案や実施・協力、実行団体に対し支援

2 周遊観光の促進と滞在時間の延伸を図る

KPI 宿泊観光客数[単年]

主な取組

- 周遊型から滞在型への観光スタイルの変換を狙うため、官民地域間連携のもと、戦略的に観光誘客を推進

第5節 企業誘致の推進と新たな産業の創出

【目指す姿】自分らしい生き方ができて、生産性が向上し、稼ぐ力のあるまち

KGI

主 観： 新たな雇用が創出されていると感じる市民の割合[単年]
客 観： 市の事業により創出された雇用人数(企業立地による新規雇用者、新規創業者及びその従業員の和)[単年]

1 企業立地を促進する

KPI 市の事業による企業立地件数(新設、増設、移設)[単年]

主な取組

- 企業訪問等の誘致活動を実施
- 対象業種で一定の要件を満たす企業に対し、石巻市企業立地等促進条例に基づく本市独自の各種支援

2 新規創業及び第二創業を促進する

KPI 市の事業による新規創業及び第二創業件数[単年]

主な取組

- 金融機関等の支援事業者と連携し、本市独自の補助制度により創業希望者を支援
- 地域資源の利活用を促進するため、セミナーの開催を行い、新技術の導入や新たな事業展開を行う事業者に対し支援
- 6次産業化に取り組む事業者に対し支援

第6節 未来の産業を担う人材の確保と育成

【目指す姿】若者が働きがいを感じるまち

KGI

主 観： 未来の産業を担う人材の確保と育成に関する取組が充実していると感じる市民の割合[単年]
客 観： 市の事業により創出された就業者の5年定着率(企業立地指定企業、新規創業者、水産担い手育成支援者、農業担い手育成支援者)[単年]

1 地元雇用者の増加を図る

KPI 石巻専修大学、管内高校生の管内就職率[単年]

主な取組

- 国や県との連携により合同企業説明会などを開催
- 水産業や農業における担い手育成事業を実施

第5章 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち

第1節 安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進

【目指す姿】安全安心な教育環境が整備されたまち

KGI

主 観：安全安心な教育環境が整備されていると感じる児童生徒の割合[単年]
客 観：なし

1 快適な学習環境の向上と充実を図る

KPI 校舎等整備事業実施件数[単年]

主
な
取
組

- ・学校施設における工事(長寿命化改修工事、大規模改造工事、改修工事等)を実施
- ・タブレットや電子黒板などの教育設備を更新

第2節 社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実

【目指す姿】社会の変化に主体的に対応し、自ら考えて判断・行動する「社会を生き抜く力」を持った人を育成するまち

KGI

主 観：「学校に行くのは楽しい」と思う児童生徒の割合[単年]
客 観：全国学力学習状況調査正答率が全国平均以上の学校の割合[単年]

1 学校教育の充実により学力向上を図る

KPI 標準学力調査において、達成率が向上した児童生徒の割合[単年]

主
な
取
組

- ・小中学校において、タブレットドリルを活用
- ・幼稚園から高等学校にALTを配置

2 児童生徒の豊かな心の育成を図る

KPI 「自分には、よいところがある」と思う児童生徒の割合[単年]

主
な
取
組

- ・児童生徒の活動意欲を高めるイベントを実施
- ・道徳教育や豊かな感性を育てる教育の充実

3 就学等に係る支援を図る

KPI 就学支援に係る相談体制や対応が充実していると思う保護者の割合[単年]

主
な
取
組

- ・経済的な事情により就学が困難な児童生徒の家庭に対し支援
- ・不登校や学校生活に不安を抱える児童生徒への学習機会の提供の確保とともに、社会的自立に向けた支援
- ・保護者を対象に学校生活の不安や心配がある児童生徒の相談や支援を実施

第3節 いのちを守る防災教育の推進

【目指す姿】児童生徒が確実に自らの命を守り抜く、災害対応力が向上しているまち

KGI

主 観：防災教育が充実していると感じる市民の割合 [単年]
客 観：各学校・園の避難訓練における総合評価 A の割合[単年]

1 防災教育の充実を図る

KPI 児童生徒の防災教育に対する理解度[単年]

主
な
取
組

- ・防災教育副読本の作成と活用を推進
- ・不審者対応や緊急地震速報受信機を活用した訓練などを実施

第4節 地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進

【目指す姿】地域ぐるみで子どもを育てるまち

KGI

主 観：地域ぐるみで教育活動が行われていると感じる市民の割合[単年]
客 観：19歳人口、23歳人口それぞれの社会増減数[単年]

1 地域で支える教育活動を推進する

KPI 地域に支えられていると感じる児童生徒の割合[単年]

主な
取組

- ・市内小中学校及び桜坂高校に学校支援地域コーディネーター及び地域連携担当教員を配置し、学校、地域、家庭をつなぐ仕組みをつくり、地域との協働による教育活動を展開
- ・市内小学校区において公共施設等を活用し、子どもたちの活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、交流活動の取組を実施

2 青少年の健全な成長と郷土愛をはぐくむ

KPI 地域に愛着がある児童生徒の割合[単年]

主な
取組

- ・市内小学校高学年の生徒を対象に、市内各地域の特色を活かした体験活動を取り入れた講座を開催
- ・ジュニア・リーダーを養成するとともに、資質向上のため、各種研修の機会を提供

第5節 豊かな地域社会を育む生涯学習の推進

【目指す姿】心豊かなうらおいのあるまち

KGI

主 観：生涯学習に親しむ機会が充実していると感じる市民の割合[単年]
客 観：生涯学習に取り組んでいる市民の割合[単年]

1 市民の学習意欲の向上を図る

KPI 学習意欲が増した人の割合[単年]

主な
取組

- ・出前講座や公民館講座を実施
- ・石巻市博物館において、企画展・特別展を開催
- ・芸術鑑賞事業や文化芸術参加型事業を展開
- ・図書、記録その他必要な資料や情報を収集、整理、保存

第6節 生涯にわたるスポーツ活動の推進

【目指す姿】生涯スポーツ社会を実現するまち

KGI

主 観：スポーツに親しむ機会が充実していると感じる市民の割合[単年]
客 観：健康寿命[単年]

1 スポーツの持つ力を活かして生きがいを持った健康的な生活を送る

KPI 週1回以上スポーツを行う市民の割合(スポーツ実施率)[単年]

主な
取組

- ・いしのまき復興マラソン等の事業を、いしのまきスポーツコミッション及びスポーツ関係団体との協働により実施
- ・市内外の方が参加可能なスポーツ交流イベントを幅広く実施

第6章 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち

第1節 市民に寄り添い信頼される行政運営の推進

【目指す姿】市の行政運営が市民に信頼されているまち

KGI 主 観： 信頼される行政サービスが行われていると感じる市民の割合[単年]

客 観： 市民意識調査の回答率[単年]

1 市民と市の相互理解を推進する

KPI 市政への関心度[単年]

主
な
取
組

- ・ 動く市長室やまちづくり懇談会、市民意識調査などを実施
- ・ 市報及びホームページ、SNSなどを活用した情報発信を実施

2 市民サービスの利便性の向上を図る

KPI オンライン化の推進により、行政手続きが便利になったと思う市民の割合[単年]

主
な
取
組

- ・ 行政手続きのオンライン化を推進

第2節 持続可能な行財政運営の推進

【目指す姿】人口規模及び歳入規模に見合った行財政運営が推進されているまち

KGI 主 観： 効率的な行財政運営が行われていると感じる市民の割合 [単年]

客 観： 経常収支比率[単年]

1 健全で持続可能な財政運営を行う

KPI 財政調整基金残高[単年]

主
な
取
組

- ・ ふるさと納税の寄附金額の向上に向けて新規返礼品の掘り起こしなどの実施
- ・ 公共施設の削減を推進
- ・ 経費の削減を推進

2 効率的かつ効果的な行政運営を行う

KPI 石巻市職員定員適正化計画における目標達成率[単年]

主
な
取
組

- ・ 業務改善のため、デジタルツールを活用
- ・ 研修等を通じた職員の育成
- ・ 適正な職員数の配置に向けた取組

第3編 人口戦略

人口戦略の推進

総合計画との一体的な取組

本市では、前期基本計画において、地方版総合戦略を「人口戦略」と位置づけ、総合計画と一体的に策定しました。後期基本計画においても、引き続き「人口戦略」を総合計画と一体的に策定します。

デジタル田園都市国家構想を踏まえた新たな視点

国において、デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、令和5年度を初年度とする5か年の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を新たに策定しました。本市においても、当該戦略を勘案し、地方創生の取組を推進するものとします。

地域ビジョン(石巻市が目指す理想像)

先述のとおり、「人口戦略」を総合計画と一体的に策定することから、総合計画の将来像「ひとりひとりが 多彩に煌めき 共に歩むまち」を、「総合戦略」に共通する地域ビジョンとして位置付け、4つの社会課題への対応方針のもと、デジタルの力の活用を図りながら、分野横断的な施策の推進を目指します。

一方、本市においては令和2年7月に内閣府より「SDGs未来都市」に選定され、「SDGs未来都市計画」に基づき、ステークホルダーとの連携のもと、経済・社会・環境の三側面に利益を循環させ自律的好循環を生み出しながら課題解決を図る取組を推進し、「地域経済活性化、災害に強いまち、脱炭素・循環型社会」の実現を目指すこととしています。

また、本市では、国内外での温室効果ガスの削減に向けた動きを踏まえ、令和5年(2023年)に「石巻市ゼロカーボンシティ宣言」を行っており、令和32年(2050年)までに市内における温室効果ガスの実質的排出量をゼロにする脱炭素社会の実現を目指すこととしています。

国(デジタル田園都市国家構想総合戦略)

デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

スタートアップ・エコシステムの確立、中小・中堅企業DX(キャッシュレス決済、シェアリングエコノミー等)、スマート農林水産業・食品産業、観光DX、地方大学を核としたイノベーション創出等

「転職なき移住」の推進、オンライン関係人口の創出・拡大、二地域居住等の推進、地方大学・高校の魅力向上、女性や若者に選ばれる地域づくり等

結婚・出産・子育ての支援、仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり、こども政策におけるDX等のデジタル技術を活用した地域の様々な取組の推進等

教育DX、医療・介護分野DX、地域交通・インフラ・物流DX、まちづくり、文化・スポーツ、国土強靱化の強化等、地域コミュニティ機能の維持・強化等

宮城県(新・宮城の将来ビジョン)

政策推進の「4本の柱」と「8つのつくる」

富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進
(1)全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる
(2)産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる

社会全体で支える宮城の子ども・子育て
(3)子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる
(4)社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる

誰もが安心していきいきと豊かに暮らせる地域社会づくり
(5)一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる
(6)健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる

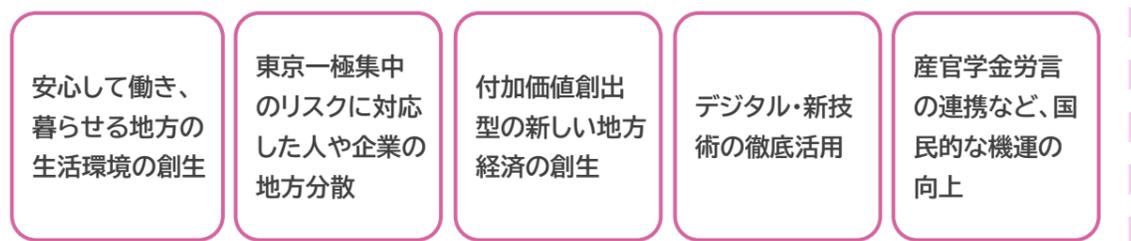
強靱で自然と調和した県土づくり
(7)自然と人間が共存共栄する社会をつくる
(8)世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる

本市人口戦略

対応方針	対応方針	施策の展開
対応方針1 安定した雇用を創出し稼ぐまちをつくる	地域産業の経営力の強化及び魅力ある産業づくりに取り組むとともに、担い手不足の解消に向けた人材確保のための支援を行い、女性や高齢者等の誰もが働きやすい地域づくりを目指します。	施策1 地域産業の競争力を強化する
		施策2 専門人材を確保・育成する
		施策3 働きやすい魅力的な環境を整備する
対応方針2 絆を大切にしがちな人が集まるまちをつくる	絆やつながりを大切にし、関係人口から移住者へつながる取組を推進するとともに、地域への愛着を育む教育や専門人材の育成、魅力的な雇用創出につながる企業誘致を推進し、「石巻市に住みたい」と思える地域づくりを目指します。	施策1 地方移住・移転の推進を図る
		施策2 若者の地元定着の推進を図る
		施策3 関係人口の創出・拡大、つながりの継続を図る
		施策4 地方への資金の流れの創出・拡大を図る
対応方針3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなうまちをつくる	若い世代の経済基盤の不安定解消や、家庭内で支え合うライフスタイルの形成に向けた改善を積極的に推進し、個々の希望に応じた結婚から妊娠、出産、子育ての希望をかなえられる地域づくりを目指します。	施策1 結婚・妊娠・出産への切れ目のない支援を推進する
		施策2 子育て支援の充実を図る
		施策3 学校教育の充実を図る
		施策4 仕事と子育ての両立を図る
対応方針4 災害に強く安全安心に暮らせる魅力的なまちをつくる	身近な場所で日常の生活を充足できる機能を充実させるとともに、豊かな地域資源を活かした地域の魅力開発や発信、災害に備えた環境整備と教育の充実により、住みなれた地域で暮らし続けられる地域づくりを目指します。	施策1 質の高い暮らしのためのまちの機能の充実を図る
		施策2 資源を活かした地域の魅力づくりを推進する
		施策3 安心して暮らせる医療・福祉環境の充実を図る
		施策4 災害に強いまちづくりを推進する

デジタルの力の活用

国(地方創生 2.0 基本的な考え方)



対応方針1 安定した雇用を創出し稼ぐまちをつくる

基本方向

本市では、今後も人口減少、少子高齢化が進行することが予測されるとともに、雇用のミスマッチなどによる若い世代の市外への流出が続いており、こうした世代の定住を支える魅力ある就業の場の確保が課題となっています。

そのため、市内の産業を振興し多様な就業機会を増やすために、新しいデジタル技術を活用しながら中小企業の生産性の向上、農林水産業の成長産業化、創業・新産業の育成等による産業の創出など、地域金融機関などとの連携による支援を図りながら、他地域との競争に勝ち抜くことのできる地域産業の経営力の強化、魅力ある産業づくりに取り組みます。

さらに、関係機関における各種就業支援制度を活用した人材マッチングなどにより、次代の新しい技術を活用した産業発展を担う若者を始めとした人材確保と育成に努めます。

また、就労環境の改善などにより、女性、高齢者、障害者など、誰もが働きやすい環境づくりを支援することで、多様な人材が活躍する地域経済の活力醸成につなげます。

KGI

市の事業により創出された就業者の5年定着率(企業立地指定企業、新規創業者、水産担い手育成支援者、農業担い手育成支援者)(単年)

1 地域産業の競争力を強化する

KPI 市の事業による新規創業及び第二創業件数(単年)

主な取組

- 地域企業の生産性の向上を促進
- 農林水産業の成長産業化を推進
- 石巻のブランド力の強化と積極的な情報発信を推進
- 産学官連携による産業イノベーションに対し支援
- 創業・新産業の育成支援を推進
- 新たな産業技術・情報技術を活用した地域経済の活性化を促進

2 専門人材を確保・育成する

KPI 新規雇用創出人数(福祉関係等の専門人材を含む)(単年)

主な取組

- 後継者人材を確保・育成
- 専門的な知識・技術を有する人材を確保・育成

3 働きやすい魅力的な環境を整備する

KPI 就学金返還助成人数(単年) / イクボス宣言企業数(単年)

主な取組

- 女性が働きやすい環境づくりを推進
- 障害者、LGBTQ+など誰もが就労しやすい環境づくりを推進
- 生き生きと高齢者が働ける環境づくりを推進

対応方針2 絆を大切にしたい人が集まるまちをつくる

基本方向

本市は、東日本大震災からの復興にあたり、国内外から多くの支援を受け、これをきっかけに本市に移住する方、また支援に従事し本市を離れた方も、再び本市を訪ねたり、支援をしたりと継続的な関係が続いています。

これからもそのようなつながりを大切にするとともに、関係人口から移住者へとなるよう取組を推進します。また、移住を希望する方のニーズにあった情報発信の強化、住まいや就業に関する支援を行い、移住・定住の促進を図るとともに、移住後も安定した生活を確保するため、雇用創出につながる企業誘致を推進します。

そして、企業での待遇改善等魅力的な就業環境の整備や個々の志向性にあった魅力ある学びの場を作るとともに、地域資源を活かした新産業の創出やデジタル技術の活用による専門人材の育成等若者の定着につながる取組を推進します。

さらに、企業版ふるさと納税やふるさと納税などの制度を活用して、新たなつながりを構築し関係人口を創出します。

KGI 社会増減率[単年]

1 地方移住・移転の推進を図る

KPI 転入者のうち 20 歳から 39 歳の割合[単年] / 立地企業件数(単年)

主な
取組

- ・ 移住希望者に対し、住居の確保、就労や子育てなど、ニーズに応じた支援を実施
- ・ 地域おこし協力隊制度の活用と定住に対し支援
- ・ 企業訪問や情報提供などによる市内への企業誘致を促進

2 若者の地元定着の推進を図る

KPI 転出者のうち 20 歳から 39 歳の割合[単年] / 石巻専修大学、管内高校生の管内就職率(単年)

主な
取組

- ・ 産学官連携による産業創出や新技術の導入を通じた人材の育成に対し支援
- ・ 市内高等学校での地域との関わりを促進し、地元定着を推進
- ・ 地域活動や学校の授業などを通して、地域の歴史や文化に触れる機会を提供

3 関係人口の創出・拡大、つながりの継続を図る

KPI 観光客入込数(単年)

主な
取組

- ・ 本市出身者などの関係人口に向けた積極的な情報発信
- ・ 地域資源を活かした観光地域づくりを推進し、交流人口の拡大を促進
- ・ 二地域居住を通じた関係人口の創出

4 地方への資金の流れの創出・拡大を図る

KPI ふるさと納税寄附件数(単年)

主な
取組

- ・ ふるさと納税を推進し、寄附を通じて得た個人とのつながりの構築
- ・ 企業版ふるさと納税制度を活用し、本市と企業の連携を促進

対応方針3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなうまちをつくる

基本方向

年々深刻さを増す少子化の進行は、未婚化・晩婚化や、出産年齢の上昇等に起因する有配偶出生率の低下が主な原因とされています。

子どもを産みたい・育てたいと思える環境を実現するために、結婚から妊娠・出産・子育てにわたる各種情報提供や相談体制を確立し、切れ目のない支援を行います。

また、子育て世帯の経済的な負担の軽減や保育環境、未来技術などを活用した教育環境の充実を図り、地域ぐるみの子育てしやすい環境を整備します。

さらに、女性が働きながら安心して子どもを産み育てられるような支援や環境を整備するとともに、セミナーなどを通して女性の活躍を推進します。

こうした家庭や職場、地域ぐるみで多様な人々が子育てに関与する環境が整備されることで、女性の社会参加を促しつつ、個々の希望に応じた結婚から妊娠、出産、子育ての希望をかなえます。

KGI

合計特殊出生率(単年)
15歳～49歳年度末人口(単年)

1 結婚・妊娠・出産への切れ目のない支援を推進する

KPI 出生数(年度末0歳人口)(単年)

主な取組

- 子育て世代包括支援センターを拠点とした、妊娠期から子育て期における子育て相談や支援が受けられる環境の整備
- 不妊治療や妊婦の健康診査など妊娠・出産に至るまでの支援
- 出産後の心理的ケア、乳児の健康診査など母子の健康管理を実施
- 子育て世代が必要とする情報について、積極的な情報発信を実施

2 子育て支援の充実

KPI 保育施設及び放課後児童クラブ待機児童数(単年)

主な取組

- 子どもを預かり、見守る仕組みや相談体制の充実
- 経済的な格差が子どもたちの生活・健康に影響しないための支援を実施
- 多様な保育ニーズに合った保育環境を整備
- 放課後児童クラブの利用ニーズに合った環境を整備
- 家庭・学校での子どもたちの安全・安心を守るための取組を推進

3 学校教育の充実を図る

KPI 学校が楽しいと感じている生徒の割合(単年) / 全国学力学習状況調査正答率が全国平均以上の学校の割合(単年)

主な取組

- 子どもの学力向上に対する取組を推進
- いじめ問題対策を推進
- 特別な支援が必要な児童への対策を推進
- 地域ぐるみの子育て環境の構築を推進
- 教育相談体制の充実を推進

4 仕事と子育ての両立を図る

KPI 男性の1日あたりの家事参画(1時間以上)率(単年) / 女性の就業率(単年)

主な取組

- 働きながら安心して子育てできる環境を整備
- 男女共同参画を推進
- 女性の活躍を推進

対応方針4 災害に強く安全安心に暮らせる魅力的なまちをつくる

基本方向

住みなれた身近な場所で日常の生活を充足できる機能集約やコミュニティ形成による生活圏の形成とネットワーク化、未来技術の活用などによる地域交通の維持・確保及び利便性向上、地域間連携を通じた圏域としての持続可能な生活環境づくりなどにより、質の高い暮らしを確保します。

また、文化・芸術等の多様な地域資源を生かした取組や、スポーツ振興による心豊かで健康に暮らせる地域づくりを進めると共に、地域のエネルギー資源の活用を進めます。

そして、誰もが住み慣れた地域で安心して健康に暮らせるよう、医療・福祉環境の充実を図り、地域包括ケアを推進します。

さらに、今後発生しうる災害に備えて、家屋の耐震化や地域における防災設備・備蓄の充実、防災教育の充実など、災害に強いまちづくりを推進します。

こうした一連の取組により、地域の魅力を高め、多様な人々が日々の生活の中で個々の志向にあった地域活動を通じて地域づくりに貢献できる環境づくりを進めます。

KGI

住み続けたいと思う市民の割合(単年)
地域の防災対策が推進されていると感じる市民の割合

1 質の高い暮らしのためのまちの機能の充実を図る

KPI 地域コミュニティ活動が活性化していると感じる市民の割合(単年) / 公共交通利用回数(市民1人当たり)(累積)

主な取組

- ・住民自治組織の設立を支援するほか、その主体的な取組に対し支援
- ・身近な生活圏の形成及び充実を推進
- ・地域交通の確保・充実などにより、地域間のネットワーク構築を推進
- ・魅力的で持続可能な地域の形成を推進
- ・地域間連携による魅力的な地域圏の形成を推進

2 資源を活かした地域の魅力づくりを推進する

KPI 生涯学習に取り組んでいる市民の割合(単年) / 年間 CO2 排出量

主な取組

- ・文化・芸術・スポーツ活動の振興を推進
- ・地域のエネルギー資源の活用を推進

3 安心して暮らせる医療・福祉環境の充実を図る

KPI 地域で支え合いが行なわれていると感じる市民の割合(単年) / 高齢者福祉が充実していると感じる40歳以上の市民の割合(単年)

主な取組

- ・地域包括ケアを推進
- ・高齢者が活躍する環境の整備を推進

4 災害に強いまちづくりを推進する

KPI 災害に備えて備蓄(飲料水・食糧)をしている家庭の割合(単年) / 児童生徒の防災教育に対する理解度[単年] / 防災訓練参加率(累積)

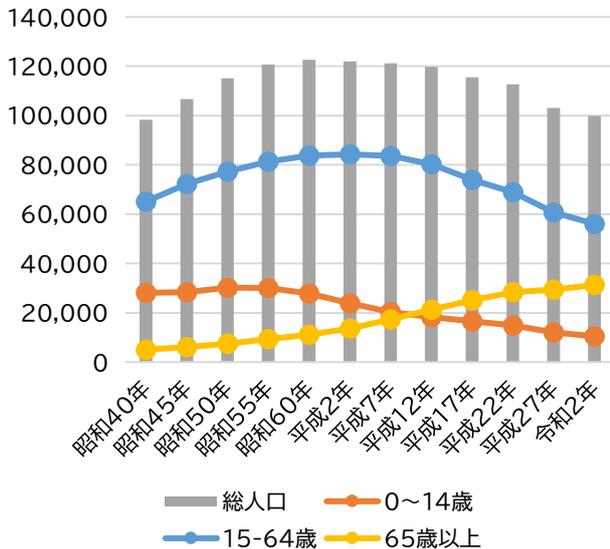
主な取組

- ・災害に強いインフラ整備を推進
- ・地域の安全確保の推進
- ・災害に的確に対応できる地域づくりを推進

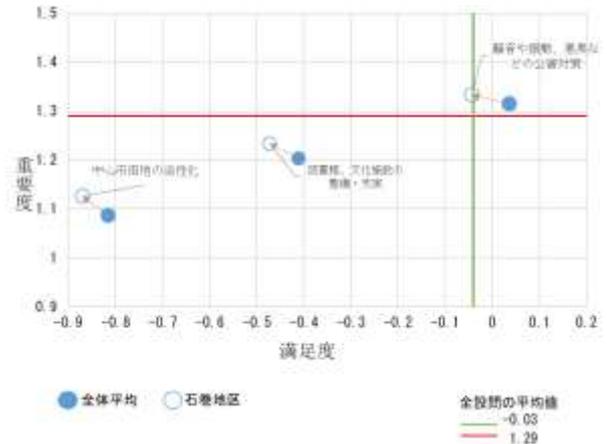
第4編 地区別将来展望

石巻地区

人口の推移



市民満足度調査の結果からみる地区の課題



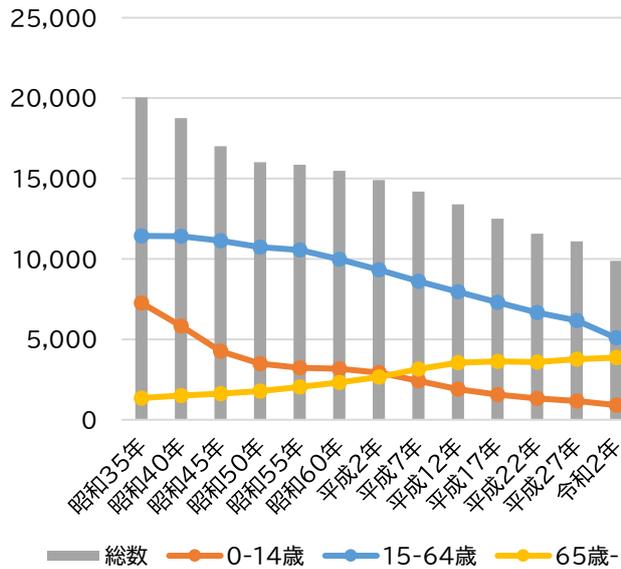
※全体の平均と比較し、満足度が低く、重要度が高いものを抜粋

- 市の平均と比較し、公害対策や中心市街地、図書館の整備などを課題と認識している。

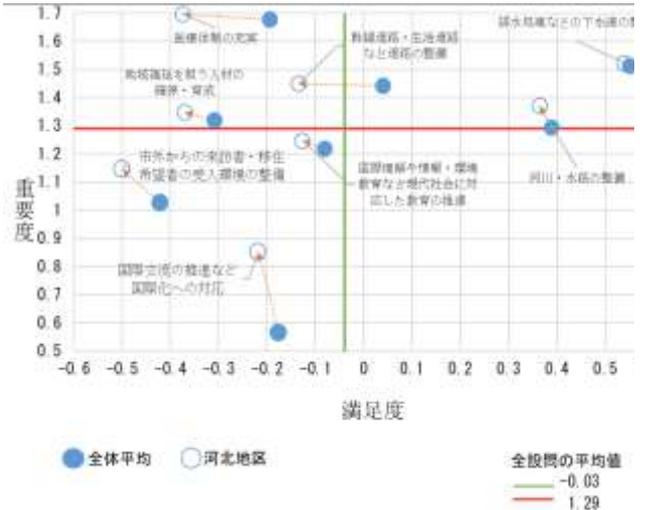
施策展開の方向

- 豊かな地域資源を活かした交流人口の拡大、移住・定住の促進を図り地域コミュニティの存続に向けた取組
- 空き店舗の有効活用などによる中心市街地の活性化を促進
- 地域包括ケアを推進し、安心して暮らせる地域づくりを推進
- 計画降雨に対応する雨水排水施設の能力確保を図ることにより安全なまちづくりを推進
- 漁獲高の向上、担い手の確保を図り、基幹産業である水産業の活性化を図るとともに、関連施設について整備を推進
- 企業誘致を推進し、地元雇用の創出及び地域経済の活性化を促進
- 豊かな地域資源を活用した観光事業を推進し、観光交流人口の増加による地域の活性化を推進
- 創造的な漁業・養殖生産体制の確立が期待される陸上養殖の普及促進

人口の推移



市民満足度調査の結果からみる地区の課題



※全体の平均と比較し、満足度が低く、重要度が高いものを抜粋

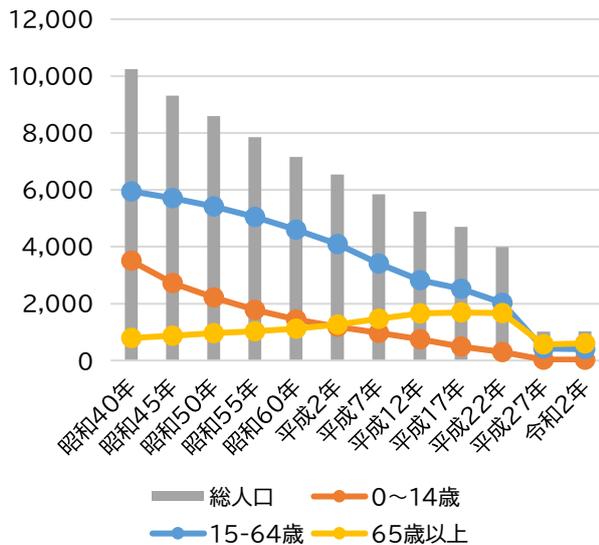
- 市の平均と比較し、インフラ整備や医療・福祉、国際交流を課題と認識している。

施策展開の方向

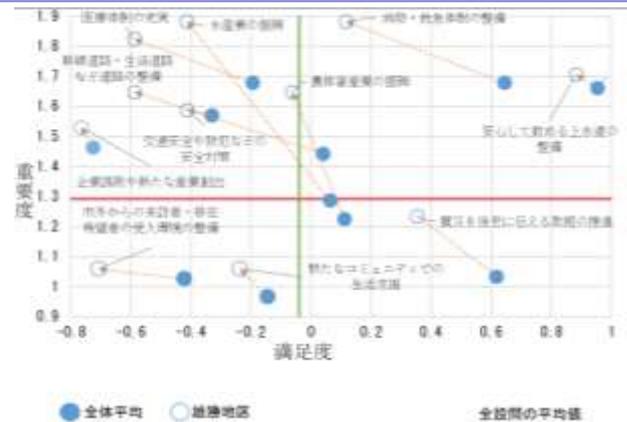
- 既存の住宅地や新たに整備された復興団地ともに地域住民の交流や地域活動を支援し、地域コミュニティの活性化を図る
- 医療と介護の連携推進、保育や子育て支援における安全安心など、様々な課題に総合的かつ包括的な支援が行える体制の強化に努めます。また、地域住民の自助・互助による健康づくりや介護予防への取組、身近な地域における支え合いの取組を推進
- 「河北総合センター(ビッグバン)」や「追波川河川運動公園」などの文化・スポーツ施設の活用促進を図り、交流活動やスポーツを通じた関係人口の拡大や住民の健康の保持増進を図る
- 身近な生活道路を整備するとともに地域性を考慮した公共交通体系を構築し、市民生活や経済活動の利便性向上と地域の活性化を図る
- 地震や水害などの自然災害への対策を推進し、関係機関との連携の強化や自主防災組織の育成などによる防災体制の整備を促進するとともに、安心して暮らせる環境の構築を図る
- 林漁業の安定した経営体の育成と担い手の確保を図り、有害鳥獣による被害対策や環境への配慮に努め、地域産業の振興を図る
- 非可住地域について、土地の有効活用を図るために、農業用地などによる利活用を推進し、地域の活性化に努める
- 道の駅「上品の郷」を経済・情報・交流の場とし、旧来の商店街と連携して地域のにぎわいを創出し、地域振興と観光振興を図る
- 「皿貝法印神楽」をはじめとする各地域に伝わる「神楽」などの伝統芸能を地域独自の文化として広く周知し、伝統文化の存続に努める

雄勝地区

人口の推移



市民満足度調査の結果からみる地区の課題



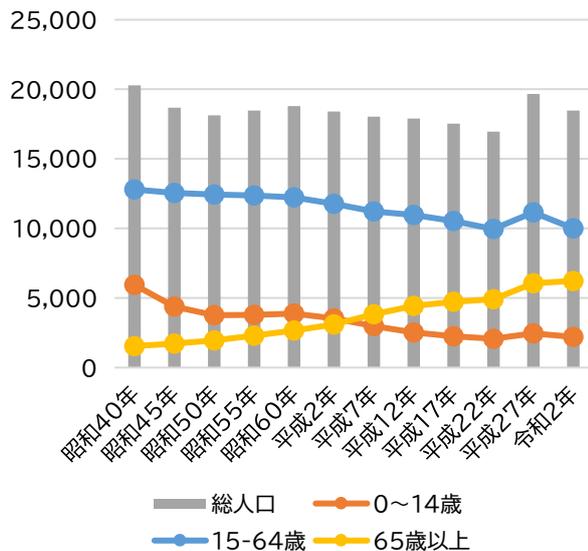
※全体の平均と比較し、満足度が低く、重要度が高いものを抜粋

- 市の平均と比較し、道路整備や1次産業、消防・救急体制を課題と認識している。

施策展開の方向

- リアス式海岸特有の雄大な海岸景観や山間部の豊かな自然環境、豊富な特産品など豊かな地域資源、みちのく潮風トレイル、海岸線の美術館、大須崎灯台などの観光資源を活かした交流人口の拡大、情報発信や資源の有効活用による移住・定住の促進を図り地域コミュニティの存続に努める
- 市内他地区へのアクセスがしやすい、地域のニーズを踏まえた持続可能な地域公共交通体系を形成
- 住民の生活や交流人口の周遊に関わる道路網の整備促進を関係機関に働きかけ、住民の利便性向上や地域の活性化を図る
- 地震や水害などの自然災害に対応するため、関係機関との連携を強化し、自主防災組織の育成などによる防災体制の整備を促進するとともに、安心して暮らせる環境の構築を図る
- 地域の医療ニーズに対し柔軟に対応できる仕組の構築や高齢者・障害者・子どもや子育て世代など、すべての人が健康で安心して暮らすことができるよう、医療・介護・福祉分野の関係機関と連携し、共に支え合う仕組づくりを推進
- 豊かな森と海の恵みに育まれたホタテ、カキなど新鮮な地場産品の地域ブランドの確立や高付加価値化を図り、地域基幹産業である水産業の振興や水産業の担い手確保に努める
- 持続的に自然資源を活用できるよう、有害鳥獣対策を実施し、農産物や樹木等の食害低減に努めるとともに、自然環境の保全活動などを推進
- 古くからの伝統を誇る雄勝硯や天然スレート等「雄勝石」を、地域観光の活性化を図る材料として活用しながら、併せて雄勝石産業を支える担い手を確保・育成し、貴重な地域資源としての活用を図る
- 「雄勝法印神楽」や名振の「おめつき」「伊達の黒船太鼓」などの伝統芸能を継承するための活動を支援するとともに、地域独自の文化として広く周知し、伝統文化の存続に努める
- 雄勝地域拠点エリアである道の駅「硯上の里おがつ」を経済・情報・交流の中心とし、地域のにぎわいを創出することで地域振興と観光振興を図る
- 雄勝ガーデンパーク推進計画をはじめとした移転元地等利活用推進事業として、市民公益活動団体や地区会と連携し、災害危険区域内の低平地を活用したサクラ等の植樹や薬草等の栽培、農業利用による北限のオリーブ及びワイン用ブドウ等の栽培による緑化を促進し関係人口及び交流人口の拡大を図り、新たな特産品の開発も視野に入れ、若者と高齢者の雇用の創出を図る

人口の推移



市民満足度調査の結果からみる地区の課題



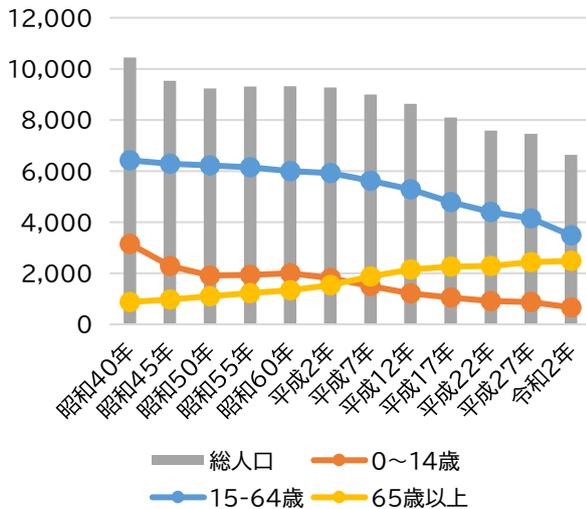
※全体の平均と比較し、満足度が低く、重要度が高いものを抜粋

● 市の平均と比較し、とくに道路や歩道の整備、公共交通を課題と認識している。

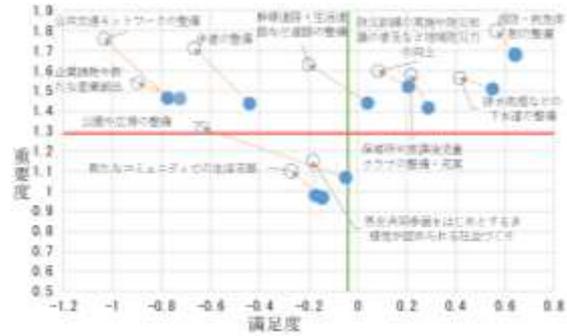
施策展開の方向

- 「遊楽館」「かなんパークゴルフ場」「旭山」や「旭山農業体験実習館(コロボックルハウス)」などについて、市内だけではなく、市外からの利用者が増加するように、施設のメリットを広くPRし、多くの人々との交流の活性化や交流人口の増加を図るとともに、市民のニーズにあった運営に取り組む
- 石巻河南道路の整備については、早期の整備完了に向けて、関係機関と協力し、整備を推進
- 今後の人口動向を的確に把握しながら、持続可能な公共交通体系の構築や生活道路の整備を促進するとともに、市民ニーズに対応した都市機能の整備を推進
- 地震や水害などの自然災害に対応するため、関係機関との連携を強化するとともに、自主防災組織の育成などを通して、安心して暮らせる環境の構築を図る
- ほ場整備事業により、優良農地を確保するとともに、用水・排水施設の整備などをさらに進めながら、効率的な営農と低コスト・高品質・高生産性の農業を実現し、安定した農業経営の確立に取り組む
- 農業の担い手の確保や販路拡大を図り、基幹産業である農業の振興を推進
- 地域住民の自助・互助による健康づくりや介護予防、身近な地域における支え合いの取組を推進
- 文化・スポーツ・交流施設を活用した多世代交流やコミュニティ活動を推進し、地域の活性化と伝統や文化の継承に取り組む

人口の推移



市民満足度調査の結果からみる地区の課題



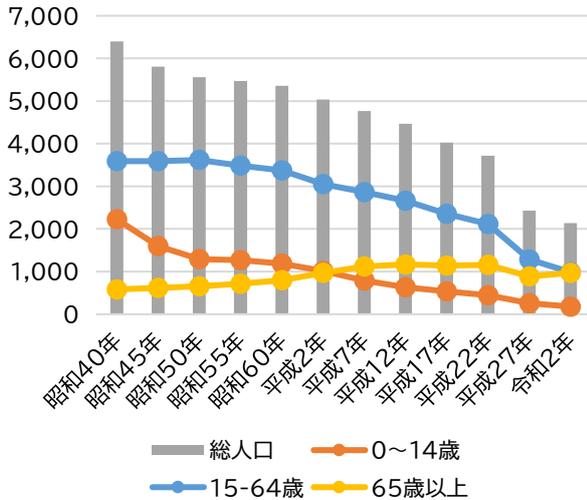
※全体の平均と比較し、満足度が低く、重要度が高いものを抜粋

- 市の平均と比較し、公園や広場・道路の整備、公共交通を課題と認識している。

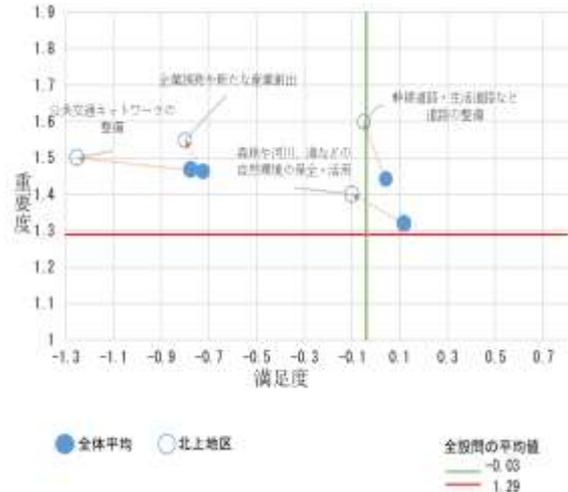
施策展開の方向

- 人口減少や少子高齢化に対応するため、多世代交流や地域住民同士のコミュニティ活動を推進するためのイベント開催や地域拠点施設の適正な整備に努め、地域で支え合う仕組みづくりを積極的に進める
- 移住希望者の移住・定住につなげるため、情報発信や資源の有効活用を図るとともに、快適に日常生活を送れるよう生活基盤の整備や各種生活支援を推進
- 肥よくな大地を活かしたバランスの取れた農業、競争力の高い畜産業を展開し、そこから産出される多種多様な農畜産物を活用し、耕地の有効活用や地域の活性化を図る
- 地域農業や農産物のブランド化、販路拡大を推進し、基幹産業である農業の担い手確保に努める
- 地域性を踏まえた公共交通体系の構築を推進し、住民生活や経済活動の利便性向上と地域内交流などの活性化を図る
- 三陸縦貫自動車道桃生豊里インターチェンジ、桃生津山インターチェンジの立地を活かした産業の活性化を図る
- 地域住民の自助・互助による健康づくりや介護予防、身近な地域における支え合いの取組を推進
- 「はねこ踊り」や各地区の「法印神楽」などの伝統芸能により地域活動を活性化するとともに、交流人口を拡大し、住民のコミュニケーションの場の創出と地域間交流の充実を図り、地域コミュニティの活性化や伝統文化の後継者育成や史跡などの活用を図る
- 地震や水害などの自然災害に対応するため、関係機関との連携を強化し、防災施設の整備や排水対策、自主防災組織の育成などによる防災体制の整備を促進するとともに総合防災対策の充実を図る
- 「桃生スポーツ施設」、「桃生植立山公園」などのスポーツ施設の利活用促進を図り、スポーツ活動の推進や交流活動を通じた関係人口の拡大及び住民の健康の保持増進を図る

人口の推移



市民満足度調査の結果からみる地区の課題



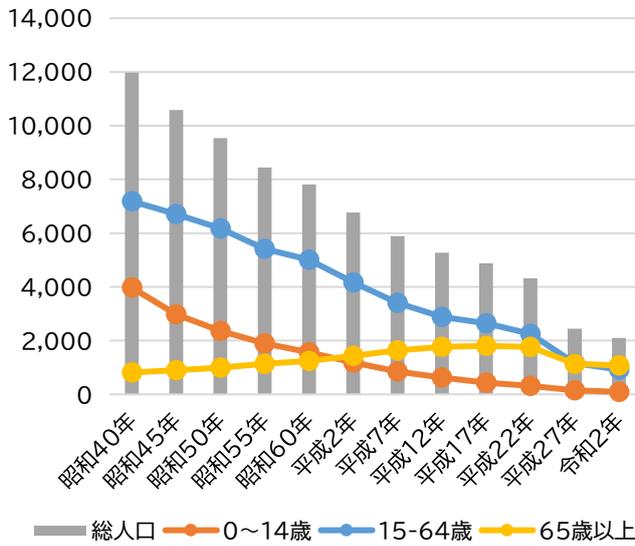
※全体の平均と比較し、満足度が低く、重要度が高いものを抜粋

- 市の平均と比較し、道路の整備や公共交通、自然環境の保全・活用を課題と認識している。

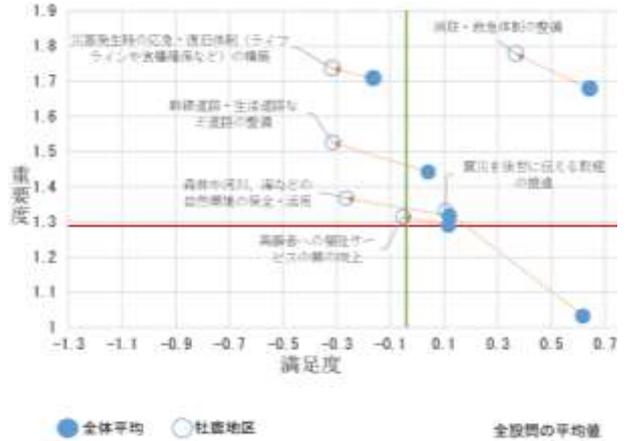
施策展開の方向

- 豊かな地域資源の魅力を発信し、交流人口の拡大や移住・定住の促進を図るとともに、多世代交流の機会を増やし、若者がコミュニティの輪に入る取組を行なうことなどにより、地域コミュニティの活性化を推進
- 地区に居住している住民が快適に日常生活を送れるよう生活基盤の整備を推進し、安全安心に居住できる地域社会の構築を推進
- 安定した地域医療体制を維持するとともに、地域の医療ニーズに対し柔軟に対応できる仕組みの構築や、医療・保険・介護・福祉の関係機関との連携を図り、共に支え合う仕組みづくりを推進
- 住民の利便性向上や定住促進を図るため、市内他地区へのアクセスがしやすく、地域のニーズを踏まえた持続可能な地域公共交通体系を形成
- 農林水産業の産業基盤を確立し、生産環境の改善と経営体の育成を図るとともに、生産性の高度化と生產品の高付加価値化などを図る
- 非可住地域について、土地の有効活用を図るために、農業用地などによる利活用を推進し、地域の活性化に努める
- 全国的に有名な北上川の「ヨシ原」や「神割崎」などの観光資源と豊富な農林水産物などを活用して地域産業の確立を図るとともに、写真セミナー「太平洋写真学校」など自然を題材としたイベントを企画することで都市住民との交流を図り、豊かな自然環境の活用を促進
- 持続的に自然資源を活用できるよう、住民による自助、地域による共助、行政による公助の構築を図り、持続的に有害鳥獣対策を推進
- 「女川法印神楽」や「大室南部神楽」などの伝統芸能を地域独自の文化として広く周知し、伝統文化の存続に努める

人口の推移



市民満足度調査の結果からみる地区の課題



※全体の平均と比較し、満足度が低く、重要度が高いものを抜粋

- 市の平均と比較し、道路や消防・救急体制の整備、震災伝承、自然環境の保全・活用を課題と認識している。

施策展開の方向

- 住民主体で開催するコミュニティ活動や地域イベントの開催、地域で継承される文化活動などを支援し、地域コミュニティの継続を維持
- 住民の利便性向上や定住促進を図るため、地域のニーズを踏まえた持続可能な地域公共交通体系を形成
- 移住希望者の移住・定住につなげるため、情報発信や資源の有効活用を図るとともに、地区に居住している住民や移住者が快適に日常生活を送れるよう生活基盤の整備を推進し、安全安心に居住できる地域社会の構築を推進
- 観光資源と豊富な水産物などを活用して地域産業の確立を図るとともに、三陸復興国立公園の立地を活かしたエコツーリズムによる都市住民との交流を図り、豊かな自然環境の活用を促進
- 金華山定期航路の就航など、より利便性の高い航路運航の確立に努める
- 単身高齢者の社会的孤立の解消を目指すとともに、高齢者が安心安全に暮らせるよう、保健・福祉におけるソフト事業の充実を推進
- 沿岸海域に広がる豊かな漁場を活用し、地場産品の地域ブランドの確立を行い、地域の基幹産業である水産業の振興を推進
- 漁業者の経営安定化に向け、販路開拓、稚魚など放流事業を推進するとともに、後継者育成や新たな養殖事業の展開を推進
- 捕鯨文化を継承し、鯨食文化の振興を図ることにより、鯨肉に対する需要を高める取組を推進